

歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点

世界の文化遺産はその保護制度が充実しつつある一方で、大規模災害を含めた災害からの防御は、未だ極めて手薄な状況にあります。一方、災害科学の分野においても文化遺産を研究の対象とすることは極めて希でした。本拠点では、21世紀COEプログラムで世界に先駆けて構築した文化遺産防災学をベースに、文化遺産とこれを取り巻く歴史都市を災害から守るための教育研究を推進し、その学理を国際規模で展開することで、日本国内にとどまらず世界各地で文化遺産を災害から守るリーダーとなる人材育成を目的とし、活動いたします。

◆ 中核となる専攻等名

理工学研究科環境都市専攻
情報理工学研究科情報理工学専攻
政策科学研究科政策科学専攻
文学研究科人文学専攻

災害と防災
土木工学・建築学
地震工学、災害科学
都市計画学...

文化遺産
防災学

文化遺産の保存
文化財保存学
美術史・歴史学・保存修復学
歴史地理学、政策科学...

◆ 申請した分野

機械、土木、建築、その他工学

◆ 事業推進担当者

大窪健之、山崎正史、吉越昭久、谷口仁士、伊津野和行、小川圭一、武田史朗、川合誠、深川良一、里深好文、鈴木祥之、田中哮義、土岐憲三、鐘ヶ江秀彦、塚口博司、片平博文、高橋学、山崎有恒、向坊恭介、村上隆、金王植、冷泉為人、岡田篤正、プレム・マスキー、カルロス・サワラ

◆ 拠点リーダー

大窪健之（理工学研究科・教授）

◆ 研究概要

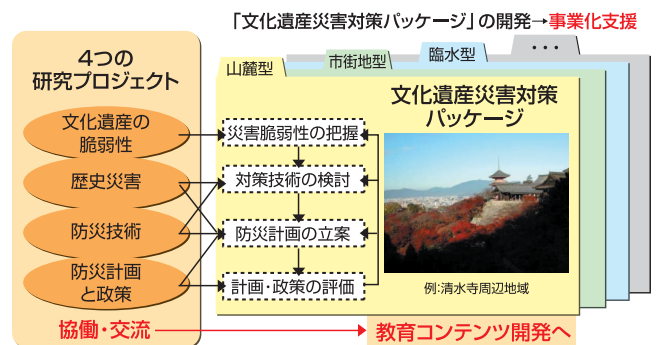
本拠点では、研究対象を美術工芸品から周辺環境、世界各地の歴史都市までを含め、文化遺産を周辺の歴史的環境と一体的・総合的に捉え、文化的価値を損なうことなく災害から守るための取り組みを進めています。さらに「文化遺産防災学」の体系化へ向けて、研究成果の実用化・汎用化と、教育プログラムの開発・普及を図ることで、以下の目標達成を目指します。

＜研究目標＞

- (1) 文化遺産防災を担う若手研究者・社会人実務家の人材育成
- (2) 普遍性・汎用性のある文化遺産防災技術の研究開発
- (3) 文化遺産防災学の教育および研究における国際貢献

＜研究テーマ＞

- (1) 文化遺産の脆弱性：文化遺産の価値と災害脆弱性の把握
- (2) 歴史災害：歴史に学ぶ減災の知恵の抽出と現代への応用
- (3) 防災技術：文化遺産の危機管理技術と防災施設の開発
- (4) 防災計画と政策：文化遺産と地域防災計画、防災体制づくり



これらの成果を組み合わせることで、山地・山麓・平地・臨水地等の地域特性や災害類型ごとに活用できる、普遍性のある「文化遺産災害対策パッケージ」を創出していきます。成果は文化遺産保護と防災に関わる研究者・実務家の教育プログラムに活用し、現場での研究参加を通じて教育することで、世界が必要とする文化遺産防災研究のパイオニアを輩出します。

◆ 関連ホームページアドレス

歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点 <http://www.rits-dmuch.jp/jp/project/gcoe/index.html>
歴史都市防災研究センター <http://www.rits-dmuch.jp/jp>

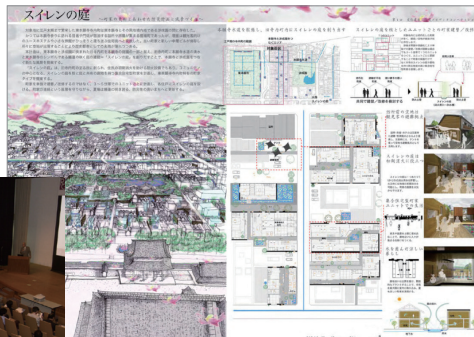
主な活動成果

歴史都市シンポジウムの年次開催

毎年1回、歴史都市防災シンポジウムを開催しています。文化遺産や歴史都市を自然災害から守るための研究や事例に関し、論文や報告を全国から募集して発表してもらっています。①文化遺産の脆弱性、②歴史災害、③防災技術、④防災計画と政策、⑤文化遺産防災に関する総合的な論文などで、「歴史都市防災論文集」として刊行しています。



文化遺産防災アイデアコンペティションの主催



文化遺産防災アイデアコンペティションを2009年から毎年開催しています。我々が現在生活している都市の多くは、歴史時代の神社仏閣やまちなみ、近代の芸術作品などに、その魅力の大部分を負っています。災害に強く、将来にわたって文化遺産の価値が育まれるような歴史都市のありかたを探究するために「文化遺産防災アイデアコンペティション」では文化遺産の防災機能を向上しながら、より良い都市環境づくりにつながるデザインやアイデアの提案を募集しています。

ユネスコ・チェア認定国際研修「文化遺産と危機管理」の年次開催

この国際研修は、2005年1月に神戸で開催された国連防災世界会議の“ユネスコ・イクロム・文化庁文化遺産危機管理”分科会勧告のフォローアップにあたります。毎年、途上国を中心に研修者を招聘し、2週間の研修を経て自国の世界遺産等の災害危機管理計画を作成してもらっています。ユネスコ・チェアは、先進国の高等教育研究の成果を途上国等に還元するユネスコの活動で、本学は2006年3月に文化遺産防災分野で世界最初のユネスコ・チェアに認定されました。



その他の成果

- 文化遺産災害パッケージ(手引書) 山麓編、市街地編の試作
- 「文化遺産防災学・ことはじめ編」の日英版をはじめとする書籍出版
- 京都市国庫補助事業「東山山麓耐震性防火システム」実現への技術支援
- 全国各地の重要伝統的建造物群保存地区に対する地区防災計画策定支援
- 文化遺産防災学・教育プログラムの運営と履修証明の発行 など

